

士別市ボランティアセンターだより

ふれあい

● 発行 ●
 士別市ボランティアセンター
 士別市東5条3丁目
 サポートセンターしべつ
 士別市社会福祉協議会内
 TEL 22-3012
 FAX 22-3019



土曜ボランティア学習塾さぼてん 「ほくと・あけぼの子どもセンター夏祭り」お手伝い

7月30日（ほくと子どもセンター）と、
 8月2日（あけぼの子どもセンター）、恒例
 の夏祭りがそれぞれ開催されました。

飾り付けされた館内に入ると、子どもたち
 はすぐにお祭り気分！わくわく顔で、先生方
 から注意や説明をきちんと聴いていました。

各所に設けられたコーナーは、かき氷やう
 ちわ作りなど、たくさん。子どもたちは、首
 からスタンプラリーカードを下げ、思い思い
 のコーナーに行き、ゲームを楽しみ、おみや
 げ袋はいっぱい、笑顔もいっぱいのお祭りで
 した。

出店の担当者は先生をはじめ、さぼてんの
 メンバーやセンターに通っていた中高生のボ
 ランティアです。

さぼてんメンバーは、「暑かったけれど、
 子どもたちも自分も、みんなで楽しめて良
 かった」「子どもたちとふれあって、忘れか
 けていたものを思い出せた気がした」などと
 感想を話してくれました。



「上川北部ボラネット実践者交流会」

9月28日、名寄市スポーツセンターにて「上川北部ボラネット実践者交流会（第3
 回名寄市民ポッチャ交流大会）」に参加しました。

各地から、約200名、66チームの参加があり、優勝目指してトーナメントを開始。

ゲーム毎のスタート合図は「ニッポンマン」というキャラクターの「ジャックポ〜ル
 プリーズ！！」という、気合の入った掛け声と
 ともに、全16コートで熱戦が繰り広げられました。

士別のボランティアメンバーは8名が参加しまし
 たが、上位には入れず練習不足を痛感！来年に向け、
 新チーム結成？を話し合いました。

大会の結果は、旭川市のチーム「ひまわり」が
 3年連続で優勝し、強さを見せつける結果となりま
 した。来年は新チーム？で参加して士別に優勝トロ
 フィーを持って来たいと思います。





「ボランティア愛ランド北海道2019 in えさし」

9月28日、江差町文化会館で「ボランティアに定年なしー生涯ボランティア 江差『日本遺産』ストーリーと共に〜」をテーマにボランティア愛ランドが開催されました。

『江差追分』の歌と踊りで開会。「福祉、ボランティアを考える〜スタジオからのあれこれ、いのちの電話の活動から〜」と題し、STVラジオ パーソナリティー 牧やすまさ氏の講演がありました。「これから90分話すことの結論は、一人の人間が全ての事をやれない。近助（きんじょ）付き合いであったり一人が出来る事をちょっとずつ行うのがボランティアではないか？相手の喜ぶ顔が自分の喜びになる」と話されました。

2018年の自殺者は約2万人、交通事故より多く、先進国の中でははずば抜けている。自殺未遂者も52万人いるらしい。命の電話の活動においては、約50万人の相談者が話を聞いてほしくて電話をかけてくれるが、（回線が限られていることもあり）お話し中等でなかなか繋がらず、実際には2万人程度しか対応できていない現状があるそうです。

また、仙台のある地域では、東日本大震災の事を中学生が語り部となって当時まだ産まれていない小学生に伝える活動をしているお話しがあり、時に笑いを交えつつ、興味深いお話しを聞かせていただきました。



その後、2つの分科会に参加しました。

第1分科会は、「幸せのおすそ分け」と題した、江差町正覚院 国際救援活動隊員 松村俊昭氏の講演。松村氏が、内戦時代のスリランカで、花を売る少年と出会った事が始まり。スリランカでは、親は朝早くから夜遅くまで働き、子だくさんだから、兄姉は下の子を面倒見なくてはならず、兄姉は学校に行けない。そのため、スリランカに幼稚園・託児所を作ったそうです。また、英語を身につければ給料の良い都会で働けるので、英会話教室も作り、その結果、大人も子どもも通うようになってきたなどとお話がありました。

江差町では住職としてお仕事をされる中で、「刻石流水」（かけた情は水に流せ、受けた恩は石に刻め）などの仏教經典のお話があり、最後に「自分の能力は分け与えること」「頭脳で指令せずに、心の指令する事に従うこと」とメッセージを伝えられ、盛り沢山の1時間半でした。

第2分科会は、「もっと素敵にレクリエーション」と題し、ケアレクリエーション倶楽部代表の南部広司氏のコグニサイズ（認知と運動）を体験。

2つのことを同時に処理しようとする事が脳に良く、血流も良くなる。失敗しても構わず、大事なものは思案して考えること（失敗した方が楽しくなる）とお話されていました。椅子に座ったままでできるレクリエーションを、開場全体で笑いながら楽しむことが出来ました。

